

日一
定価 毎月六円
零售 五分
(刊休日翌日祭曜日)

### 昭和第八年迎春賦

太陽は今し一掃して水を離れた。男子的な進取的な澎湃たる波濤の銀箭の如き飛沫に濡れ、上る丹なる太陽は、暗緑色の黎明の太平洋を金色に彩つて寄せては返す波の音さへ今や一段律調の整正を増し行く。時代の黎明を叫ぶ遠近の鐘聲よ！

日出る國の元朝の情景の如何に雄大にして崇嚴なる、吾人帝國臣民は今や這箇希望の象徴たる一大圖書の生々躍動に接し、上聖天子の萬歳を謳歌し下八千萬赤子を祝福し、國威の宣揚と國運の伸展とを念ふて絶大無限の歡喜を禁ずる能はざるが、面も心を内に致して睜目一番せよ、頽唐荒廢の雰圍氣は在所に搖曳低迷してそこに見出す、さても爛れたる地球の表皮よ！

吾人は今や光輝ある昭和第八年の初頭に當り昭和七年の越し方を顧みその道程に懸懸せる幾多社會の新事象を沈思するに、胸奥湧起する何物か遽々然として心の緊張を覺ゆるではないか。

即ち非常時内閣の下國民生活の安定を斯すべき政策の樹立まことに急を要すると共に外滿洲國の承認によつて國際的關係倍々複雑多端を加ふ、事情は斯くして吾人に一日の苟且偷安を許さない。此時此際平和を確保し人道を高潮せんとする一大コーラスは南風の蕩する如く春潮の應ずる如く抑も世界人類中の何人によつて行はるや、看よ合唱隊の先頭に立つて彼の黄金の指揮杖を揮ふものは果して誰か子となす。日東の聖天子、斯時新年歌題「朝海」を賜ふ、昭和八年一月一日の黎明、旭光燦々爛々として大日本帝國の岸を洗ひ滿洲の東北岸と南北米大陸の西岸に及ぶ海洋無際の大太平洋上悠然として帝國の標章豊榮たる旭を現す、吁々、渾圓球上斯の如き偉ありや、大ありや。

大日本帝國の能民たるもの、いでや屏蘇三酌、この望み多き新春を壽がんかな。

昭和八年一月一日

### 磐城新聞社

### 初日

○東海の蓬萊島にあかねさしゆらゆらの日は  
を思はむか  
○東海の島さして來し唐くにの童男童女思ほゆるかも  
○おとろへて雀める徐福のまなこにははつかりと日が赤かりしかも  
○あれあれと童子指さす蓬萊の島の磯わに田鶴まひ遊ぶ  
○東海の波くれないに染みわたたりさしのぼる日の赤く大し  
○美しき童男童女の頬染めて朝日にはへり蓬萊の島  
○蓬萊の島に流れて住みつける男をみなを吾は思ふなり  
○蓬萊の島も富まなくもろもろの人ら貧しく年明けにけり  
○朝の海にうづの光はさしわたたり日出づること幾萬回せりけむ  
○例へて言はば蓬萊島をさして來し船は豊間の濱に着きしか  
○めでたかる年の初めに吾が思ふいにしへのこと皆めでたかり

### 朝の海

○ほのぼのと黎明を孕んでる海上！お、1933年の日本が見える  
○全人類の感情が交流してゐるのだ海のうねりにそら恐ろしくなる  
○ごうごうと巨巖をたぐきつけてゐる瀝しな海の激情だ！これは  
○海べに立つて元旦の日の出を拜む村人の純情がともいふ七浪  
○づつづり湯槽にひたり作りゆらゆら元旦の海鳴りに揺られてゐる

### 新年雑吟

正月や門松白し雪の朝  
夜店立つ街角さびし雪の夜  
古井戸や小石なげこむ水の音  
初雪や水仙の葉を白くせん  
水鳥や水鳥の腹くさゆゆ

### 朝海

○打ち寄る波おたやかにほのくと、おほあめつちゆ年立ちにけり  
○日は今し水を離れぬ浪かしら年立つ今朝をきらめきわたる

### 磐城新聞社

### 新年懸賞歌

小山田 滋選

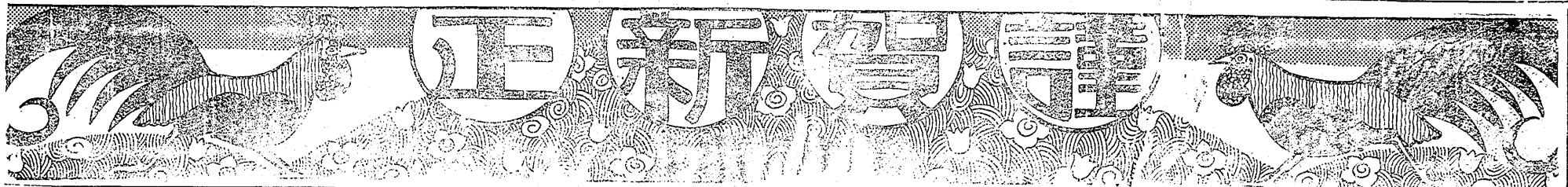
一 平町五丁目 鹽屋崎 一  
一坪に足らぬわが家の植込を心足らひて見る今朝の雪  
二 平町新川町 多 歌 緒  
大根根の水にうづつれる白雲の静かに動く夕べなりけり  
三 平窪村瀧之澤 矢 吹 一 徳  
初雪はうれしきかもよ校庭に紅き顔して子等さめける  
三 平町鹿匠町九田 部 君子  
ひとひらのこの小雪を春のものと思へばうれしげさの初雪  
三 平窪村中鹽 矢 吹 長 貴  
底石のあらはに見えてさむざむと澄みて流る、冬川の水  
三 深山の親しなれやい値分け小石もたげて水湧きて居り  
秀 逸  
平窪治町廿五酒井活版社内  
飯かげの池の水のひとところ洩る陽にとけて青き水見ゆ  
内郷宮竹之内七十三 佐藤 知 代 造  
くだかけの聲高らかに鳴く朝の遠山峯に眞白なる雪  
平町南町五十四鈴木洋服店内 要  
沖天にからから舞ひて二三つ落葉落ちくる水の池  
庭石の雪をはらひて葉はたんの小き鉢に陽はよく晴る  
平町鍛冶町針屋内 磯 上 六 花  
朝晴の雪の中より青々と濃きつや見せて夢は伸びけり  
平 町 仁井河 満智子  
水の如く冷たく澄める霜月の大空の下に鉄ふるふ吾れ  
平町九品寺 鈴木 米 峰  
車井の軋る高音に聞き入りて年立つ今朝を若水汲めり  
平古鍛冶町九 安 藤 知  
朝ごとにたがむ山の白雪もまたらになりて春は來にけり  
内郷磐城炭礦事務所 高野 黎 星  
さざしを登り終りてふとみ入る我が眼にきよき雪の鳥居  
湯本入山青葉下七號一〇 山内 一 三  
白雪のはれに今今朝の大空を高々と舞ふ鳥一羽あり

### 選後評

投稿者百二十七名、歌數ビントが合はなところ三百六十四首。磐城新聞とあるので惜しいと思つた。しては始めての試みでもお磯上六花氏は本紙へも始終り、應募期間も短かつた投稿される人だが、多作だ割合には比較的多數の投稿者だ。境は良い處には全く初歩に近い人々も捉へながら夢伸びにけり相當あつたので數の割合にといふ様な目前すんまは質の良いものは少なかつたが伸びた如き破綻を見せてた。題としては水と雪と居るの一例だ如何にかは決してさうむづかしいも惜しい氣がした。高木要氏の作は俳味が角角初歩者は題に固執してつた面白ものだったが、仕舞つて、山に登つてみた歌に「唯歌にふくやかがないのり、川へ行つてみた」が欠點だ。もう少し心を豊類型的な平凡な追真力のなにもつて歌らしい境地をいものになつて仕舞つたよこせせねらなはぬ事だ。うた如何に題が所謂短歌的なるものであつたなら、少し實生活に觸れたもの、都合上割愛する。新年懸賞は近きありて却つて實生活の近きな中に切實な追を考へて投稿者諸君の今後を發奮を促がして置きたい。鹽屋崎一氏の作品は「植込」を木の植込である庭と解釋してゐる中々に内容其のものは決して新しくはないが、新年と初雪とか言はずに新春らしい謙虚な悦びと落付きを見せたところ凡手ではない。多歌緒氏の作は冬若しくは初春の歌ではないが、なだらかと豊かに季節はづれをも肯定して舊作としても充分入選の價値はある。矢吹一徳氏の小学校庭の初雪は題材が新しく、紅き顔とさめけるで一首全体の均整もとれて居り、讀者迄も微笑ましくさせる。田部君子氏は才氣縱横の歌を作られるようだ。將來もう少し歌を沈潜せしめ、深く掘り下げた内面的のものに進まれる可きであらう。と言つてこの雪の歌は勿論輕妙な逸作であること否定する者ではない。矢吹長貴氏の冬川の水の歌はアララギ系統の寫生式短歌のようであるが、現在のアララギはとくに斯んな境地を突破してゐる事を考へてもう一步自己の内面的のものに進んで貰ひ度い山野邊氏のはさすがに作り慣れた作品だ。旅の歌として上乗のものであらう。秀逸の中では大方竹竿氏

### 仙臺 JOURNAL

△前六、五〇A 一君が代  
二、日出づる歌  
△七、五〇C 一、歳旦初日  
出逢拜祝況、勅題「朝海」  
に因み(伊勢二見浦より)  
中繼(二、伊勢神宮神詣  
状況)イ、五十鈴川手木  
潔齋所、内宮神樂殿構  
内(宇治山、山皇太神宮宮  
域より中繼)  
△七、三〇B 恒例初意  
△八、〇〇A ラヂオ體操  
△九、〇〇A 氣象通報  
△九、〇〇A 奉祝唱歌(一  
年の始、二、君が代)女  
子放送協會唱歌  
年頭の挨拶、日本放送協  
會會長若原謙三  
△一〇、〇〇A 諸曲  
△一一、〇〇A 講演  
△一一、〇〇A 講演(年頭に  
際して)通信大臣南弘  
△正午 A 時報 氣象  
△後〇、五〇A 雅樂  
△一、二〇A 長唄  
△二、二〇A 萬歳 三河萬歳  
△二、二〇A 雅樂、宮内省  
樂部員  
△二、四〇A 氣象  
△六、〇〇A (子供の時)  
童話(桃太郎)巖谷小波  
△六、三〇A 講演(乃木將軍  
旅順關係)大庭大將  
△七、〇〇A ニュース 氣象  
△七、三〇B  
△八、三〇A 放送舞臺劇  
△九、三〇A 時報 氣象



### 年頭寸感

平町長 青沼鋒太郎

一陽來復昭和八年の新春 而して従来平、内郷、飯を迎へ茲に平町民各位に歳野一町二ヶ村水害豫防組合革新の祝辭を述べたるは不の管理に係る新川は時局匡肖の最も欣快とする所であらざるを得ず、河川法の完成を見んとし、河川法に依り縣費支辨川に編入の静かに昨年を回顧するに昭和六年九月十八日勃發したる濁洲事變は我忠勇なる皇軍の將士、嚴寒酷暑を意とせず、滿蒙の曠野に身命を抛ち支那の匪賊を剿滅し新國家滿洲の獨立を承認したりと雖も、外は全世界の視の焦點滿洲問題を中心とする國際聯盟會議の形勢今尙不安定を許さず、内は經濟界の不況益々深刻を加へ、國家財政の危機に直面し未曾有の難局に達す。就中中小商工業業者の疲弊極端殆んど其極に達し、眞に想像の外に在り。今や國家重大の時機に臨み國難を打開せんとするに際し、國民たるもの正に一大決心を爲さねばならぬ秋である。爾に吾平町自治の實績を顧みるに財界の不況に處し、克く町民一致忍耐以て健實なる町勢の進展に努め、多額の懸案たる水道擴張事業は順調に進行し豫期の如く工事の完成を告ぐるに至り、又縣は新たに蠶業取締支所を本町に設置し以て斯業の獎勵發達に資せらる。

### 町民有志六百名 年頭の祝酒を酌む

新年祝賀名刺交換會 けいふ聚樂館で開く

恒例平町有志の新年祝賀名刺交換會、會員祝辭、中島裁判刺交換會は今日午前十時長の發聲で萬歳三唱後新田から聚樂館で開演するが出席者數は手配其他の餘興席六百名に達し酒井助役の祝辭を酌み交し盛會裡に開演に次ぎ青沼町長の祝辭閉會する

### 模擬火災演習

來四日の早朝から 恒例平消防出初式

男み肌の江戸情調梯子登りに全町を練り歩きを券せしむる平了つて午後二時から博覽會消防組の出初式は場跡で模擬火災演習及水勢四日前八時から平署前に試験を行ひ平署會議室で模集合組員六百餘名を三班に範並水年勤組員の表彰を分け同九時から掛燈勇しき行ひ慰勞宴を張る筈である

内郷信用組合  
理事 山崎庫太郎

磐城工業株式會社  
小野 晋平  
福尾 伊太郎

内郷村會議員  
醫師 島田 兼吉

木村 清治

好間村會議員  
役場吏員一同

堀江工業株式會社  
社長 江口 忠一  
専務取締役 鈴木 唯治

内郷村長  
沼田濱之助

飯野 村長  
伊藤 淺之助

好間村會議員  
大河原 茂平

好間村會議員  
金 成 角 治

平料理屋組合

福島縣平町掛燈小路  
十二番地  
皇恩會洋服裁縫講習  
小松洋服店  
電話呼出五八五番

難波 睦

平町田町  
三三三三や

伊勢屋商店  
阿部唯次郎  
電話四十五番  
振替東京三六六番

磐城新聞社同人  
蓮沼 龍輔  
柏木 哲  
安齊 利三郎  
國井 榮三郎  
綠川 松太郎  
會川 孝太郎  
室越 鶴次郎  
鈴木 正一  
鈴木 光治  
馬目 忠吾  
小野 光男  
鈴木 清滋  
植田 支局  
渡邊 義一  
四倉支局  
大谷 義隆

賀新年謹  
世界  
カフエー  
電話四六番

湯本郵便局長  
鯨岡 潔

平町三丁目  
山田 忠太郎

平町南町  
青木 寫眞館

平町掛燈小路  
海老原 洗濯所

瓦製造販賣業  
古川 兼松  
平町南町 電話一八四

縣會議員  
萩原 義雄

二本松電氣株式會社  
小名 濱支店  
電話二七番

石城郡内各學校校長會

湯本町  
高級 松 柏館  
比佐 榮一

高橋 龜松  
平町、白銀町

詩 南 社

阿部政右衛門

酒井 猶次

平土木監督所長  
小林 清吉  
外一同

好間尋常高等小學校  
職員一同

關内 正一

矢吹 醫院  
矢吹 大輔  
電話二六六番

鈴木眼科醫院  
鈴木 亮  
電話四三八番

吉田眼科醫院  
吉田 安雄  
電話 六八番

大和田耳鼻醫院  
大和田 那司  
電話一七〇番

松村 病院  
松村 鐵郎  
電話一〇七番

藤沼 醫院  
藤沼 平次郎  
電話五〇七番

大森 醫院  
大森 勇  
電話二五八番

酒井 醫院  
酒井 國三郎  
電話 五五番

金成 醫院  
金成 忠義  
電話三五八番

根本 醫院  
根本 莊次郎  
電話 三四番

平消防組  
組頭 井上 茂作  
副組頭 柏原幸次郎  
第一部長 鈴木長三郎  
第二部長 關内 正一  
第三部長 岡田政次郎  
第四部長 三井 寅吉  
第五部長 鈴木彌太郎  
第六部長 佐川 三郎  
第七部長 高根澤長太郎  
第八部長 堀江 正茂  
第九部長 根本幸次郎  
第十部長 阿部 治作  
第十一部長 高木彌太郎  
第十二部長 草野 喜一  
第十三部長 金成泉一郎  
第十四部長 橋田 萬次郎  
第十五部長 菊田 萬吉  
第十六部長 片寄 敬太郎

小名濱町長  
鈴木 榮  
助役 高木 保

平青果商組合

平町砂糖商組合

平町白銀町  
長 島 菊 苗

最上醬油醸造元  
小野 園次郎  
平町長橋町電話二五一番  
振替口座仙台五七四四番

株式 星製藥磐城配給所  
駒木 根 忠三  
電話四二九番

マルトモ書店 電話二三四  
マルトモ運動具店 五九七  
マルトモ食堂 二二三

平材木商業組合

平町旅館組合

平白銀町  
田 邊 忠 造  
電話二九四番

磐城共濟病院  
院長醫學博士 石山謙郎  
電話一三四番

平町西洋料理組合

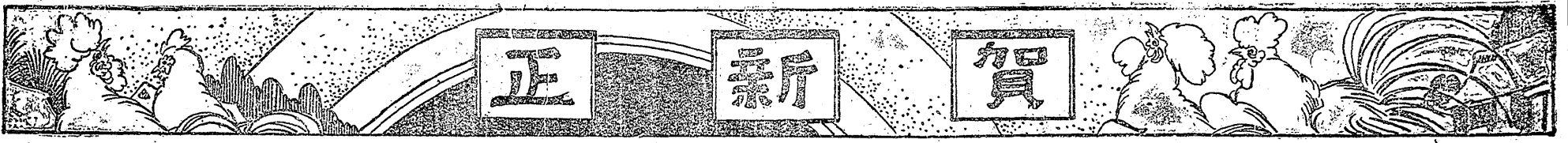
三九二タクシー  
平町一丁目 電話一四九四番  
三九二

ヤマ 山崎合名會社  
電話 本店 二七番  
營業部 一〇番

福島縣平町五丁目  
スビイデー自動車修繕工場  
電話四九〇番  
代表者 大内 昌吉

合名會社  
各種承領 手藝材料  
ハシモトヤ糸店  
平町田町 電話十四番

割烹 と き わ  
磐城平松ヶ岡公園内  
電話二二六番



**色川光以** 平運送合資會社 平町宇田町通り  
**大黒屋洋品部** 電話長一六一  
**石川平之助** 平町鍛冶町十一番地 郡山無盡株式會社 平出張所 電話百十番  
**飯田近治** 平町  
**佐藤材木店** 電話三三五番  
**吉田美容院** 新田町  
**高橋武** カフエー松ケ岡  
**阿部材木店** 平町紺屋町 電話四九四番  
**福島健之** 長橋町 (元寛利改)  
**藤寅蒲鉾店** 電話一四一番  
**坂本紙店** 平町一丁目  
**渡邊内小科醫院** 渡邊 久 平町八幡小路電一六一  
**小野勝康** 明治生命保險株式會社 (姓名長吉) 電話五五五番

**磐城建物株式會社** 取締役 井上貞治郎 支那人  
**錦村消防組頭** 山崎 登  
**石城郡町村長**  
**平藝妓屋組合**  
**千葉彦治** 温泉 山形 屋 旅館 鈴木康平 電話四番  
**湯本信用無盡株式會社** 平町新川町  
**新家芳美** 玉川村長  
**駒木根忠三** 好間村會議員消防組頭  
**叶多清** 平町南町  
**大谷時計病院** 電話一九九番  
**上田外科醫院** 電話一二九番  
**砂利採取販賣** 米穀商 神谷兼治郎 好間村町田

**磐城無盡商會** 平新川町十九  
**木村病院** 電話一六四  
**大野寫眞館** 田町  
**株式百澤商店** 平町  
**高崎松三** 福島縣平町田町 西洋料理 電話六六六番  
**玉よし** 電話四二六番  
**田卷香油店** 平町二丁目 電話四一五番  
**齋藤寫眞館** 福島縣平町大町 美術引伸人像專門 電話呼六三七  
**鈴木染工場** 磐城平南町 電話四九二番  
**吉村安次郎** 平町會議員 電話二五七番  
**小野屋藥店** 平町四丁目  
**三井富吉** 平町四丁目三  
**佐々木龍若** 平町一  
**渡邊貫一** 電話四四一  
**中屋長三郎** 平町接穂小路四 製菓製造業ヤニ販賣 振替仙三三六〇三番

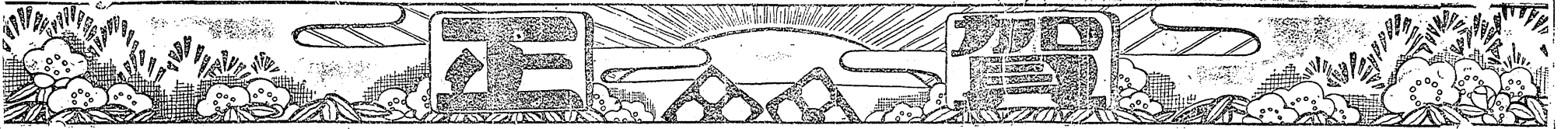
**久野ひと** 外科醫學博士  
**渡部義夫** 建築請負業 強口唯七郎  
**鈴木忠治** 鮮魚商 內郷村宮  
**涌井自動車部** 內郷村 涌井恒昇  
**土木請負業 澁澤鶴作** 內郷村  
**內郷村會議員 小松定次郎**  
**江名町長 河野嘉藏** 外吏員一同  
**平出張所** シボレ自動車一手販賣店 株式福島モーター商會 電話一三三八番 電話一三九四番 振替口座(仙臺)三九四番  
**三井吳服店** 福島縣平町三丁目 電話一三三八番 電話一三九四番 振替口座(仙臺)三九四番  
**株式福島貯蓄銀行平支店** 平新川町青年分團長  
**藁谷喜太郎** 平運輸株式會社 平町前 電話長二二七三七番  
**平三業保健組合** 合組造酒郡城石 支部長 鹿島 佐原 久治 支部長 草野良太郎 野野定次郎 小野野平 齊藤藤次郎 近藤彌平 江原久主水 名川瀨 吉原 佐久水 鹿島 佐原 久治

**印伴天專業** 草野染工場 平鎮田町電話三四八番  
**松田卯次郎** 活動常設平館 電話四六六番  
**鶴屋商店** 福島縣平町四丁目 電話百四十番  
**岡田牛乳舍** 平町接穂田町 電話五一五番  
**前澤文太郎** 土木建築請負業  
**實川彌太郎** 實川醫院 平町田町電話二七〇番  
**四倉驛長** 一二階堂 寬  
**酒類卸小賣 鈴木屋酒店** 鈴木茂 四倉町電話六二二番  
**深谷藥舖** 四倉町新町電話二八  
**釜めし大漁亭** 一品料理 四倉町海盛座脇 電話五一五番  
**船主鈴木賢治** 四倉町新町  
**和洋料理 小松屋** 推名忠太郎 四倉町新町  
**四倉料理屋** 保健組合一同  
**四倉營業所** 福島縣石城郡四倉町 東部電力株式會社

**多田井笑次郎** 平町大工町  
**西村屋藥局** 平町田町 電話三三番  
**大床號 石崎幸一** 平町田町 電話一八八番  
**石川亭** 土木建築請負業 佐々木健一郎 平町接穂小路電話三六一番  
**平庶民金庫**  
**住吉屋本店** 平町紺屋町 電話一五九番  
**水野虎三郎** 平町長 青沼鋒太郎  
**馬守一** 植田郵便局長  
**宗像敬治** 內郷村  
**湯本町長 石川德壽**  
**磐城中學校**  
**交誼會** 御料理天ぶら  
**越の家** 電話三三〇  
**四倉藝者屋組合一同**  
**四倉醫師齒科一同**  
**豐間漁業組合** 組合長 遠藤惣三郎

**四倉町 佐藤仲商店** 電話四一七番 振替仙臺二五八七  
**四倉信用 購買組合** 四倉町長  
**新妻盛** 四倉町高等小學校長  
**菊池正一** 大野村長  
**吉田盛治** 大野村  
**木村庄助** 消防組頭  
**近藤敬助** 大野高等小學校長  
**渡邊金治** 大浦村長  
**高崎義男** 大浦村助役  
**柴田正則** 大浦高等小學校長  
**本水野屋菓子店** 電話七番  
**田中足袋店** 四倉町本町 萬仕立物洋品店 夏井屋號  
**面川商店** 雜貨 御賣  
**波多野商店** 茶セトモノ雜貨  
**菅波富太郎** 四倉郵便局長





**高久村役場**  
村長 鈴木喜太郎  
助役 本馬 武  
外吏員 一同

**高久忠**  
高久病院院長

**金成國雅**  
平町鎌田區長

**大塚製靴部**  
店主 大塚鳳三郎  
平町電話七七一

**佐藤榮吉**  
平町立町區長

**木田彌作**  
好間村

**材木店**  
建築用材 其他  
瀧口 豊  
福島縣平町五丁目  
電話二九〇番

**割烹 末廣**  
平町電話四二二

**筑前屋**  
平町田町

**遠藤俊一郎**  
江名町

貴族院議員 **金成通**  
衆議院議員 **鈴木辰三郎**

宮城銀行 事務取締役

**山田勇太郎**  
仙臺市元寺小路

**小原良武**  
福島縣平町三丁目  
七十七銀行平支店

平磐城片倉製糸株式會社

所長 **辰野賢造**

仙臺片倉製糸所 所長 今井省三郎  
郡山片倉製糸所 所長 新井 榮  
高田片倉製糸所 所長 今井 準平  
千厩片倉製糸所 所長 東 條 綠  
千厩片倉製糸所 所長 片倉 源重  
福島片倉製糸所 所長 片倉 貞一  
郡山片倉製糸所 所長 薄井 千尋

**石城郡組合銀行**

**磐城炭礦株式會社**  
所長 菅原萬治郎

**入山採炭株式會社**  
所長 吉田宗雄  
副所長 大貫經次

**古河好間鑛業所**  
所長 下野 十期  
係長 安孫子 虎雄

**小田炭鑛株式會社**  
社長 萩原 申八

**福島炭鑛株式會社**  
專務取締役 菊地 德太郎

水戸地方專賣局  
平出 張所  
所長 磯上 左源太  
所員 高橋 繁一  
同 軍司 慎一  
平地方煙草小賣人組合  
平町田町  
組合長 平澤 勝次郎  
小名濱町

同 組合長 鈴木富太郎  
同 四倉町字新町  
同 平川 龜之助

同 計佐 藤 榮一  
同 平長橋町  
同 理事 植頭 鶴松  
同 豐岡村

同 鈴木 清利  
同 神谷村中神谷  
同 志賀政五郎  
同 又兼 郡久之濱町  
同 大須賀 熊治  
同 赤井村 上小川  
同 兼本 要之助  
同 好間村北好間  
同 石倉 忠兵衛  
同 内郷村 大字宮  
同 湯本町  
同 湯本 町  
同 小名濱町 字 楠本  
同 樋口 速  
同 外役員 一同

同 湯本 町

同 湯本 町

同 湯本 町

同 湯本 町

同 湯本 町

同 湯本 町

同 湯本 町

同 湯本 町

同 湯本 町

**不動澤炭鑛**  
石城郡内郷村

**大倉無煙炭鑛**  
所長 尾藤 憲祐

越 賀 炭 鑛  
唐 虫 無 煙 鑛

**杉山炭鑛**  
鑛主 杉山今朝吉  
福島縣石城郡内郷村

**松本德一**  
平 窪 村

**山立國勞働自治會**  
會長 松 繁 庄 一

**植田水力電氣株式會社**  
社長 金 成 通

**安島重三郎**  
村 會 議 員

**佐藤三平**  
石城郡内郷村

**釜屋商店**  
諸 橋 久 太 郎  
諸 橋 元 三 郎

**平看護婦會**  
會長 清野キヨ子

**矢吹 豊**  
石城郡夏井村

**鑛主 川波芳太郎**  
茨城縣多賀郡蒲川村

**自動車協會**  
平 支 部

**志賀兵吉**  
平町立町

**武藏鐵工所**  
福島縣平町  
電話三百十四番

**カフエー**  
平南・電話三八三

**ハラダイス**  
平南・電話三八三

**根本時計店**  
二丁目  
電話六〇七番

**酒井伴城**  
驛前  
電話六六一番

**中島寫眞館**  
田 町

**木村一郎**  
平 町

**三井商店**  
平町二丁目  
電話一五六番

**丸はん**  
警城平町二丁目  
電話二五九番  
振替東京二二七四番  
製作工場  
平町新川通電話一八二番

**磐城青年學校**  
明治四十年八月創立  
平町 城 山

**大平新吉**  
好間村北好間

**關内藥局**  
平町四丁目  
電話四〇〇番

川瀨炭鑛々々主  
**川瀨 幸治**  
福島縣石城郡赤井村

**中野 浩忠**  
東京市中野區野方町

**木野 康平**  
石城郡大野村

**長岡 義守**  
石城郡湯本町

**小田 吉治**

**小野 晋平**

代 議 士  
**比佐 昌平**

**古川 傳一**

**江名漁業組合**  
組合長 佐藤 德太郎  
主 事 永 野 淳

**江名信用組合**  
理事 太清左衛門

**赤堀 信平**  
東京市外濠野川町西  
大原六九二  
電話王子 一三六三番

**堀藥局**  
福島縣平町二丁目  
一處方調劑  
一般藥品  
醫療器械  
藥劑師 堀 功  
電話三三六番

大井建築工務所出張所  
**大井 勇**

**大 貞**  
電話四一三

平町五丁目  
金光堂時計店  
電話一九五番

**岡山寫眞館**  
電話六一五番

古山ラデオ  
**電氣商會**  
平町田町一九

**尼子 タクシ**  
電話六四〇番

レストランサロン  
**森川泰一郎**  
電話三五二番

平町一丁目  
**水野藥局**

警城平町一丁目  
和久井屋漆器店  
電話四〇五番

平町田町  
**廣瀨支店**  
電話五四番

耳鼻科專門  
咽喉科專門  
平町田町七〇番地  
**山内醫院**  
醫學士 山内 亨吉

平町極細小路一丁目  
ライト寫眞館  
電話五三五番

福島縣平町二丁目  
一處方調劑  
一般藥品  
醫療器械  
藥劑師 堀 功  
電話三三六番